

B型肝炎の正しい理解と より添う看護

～B型肝炎患者さんの声を通して～

B型肝炎は、血液などを介してウイルスが感染することによって起きる肝炎。
1948～88年に行われた集団予防接種の注射針の使い回しなどが原因で感染者が
拡大したとされています。

2017年に厚生労働省が医療従事者の養成機関にB型肝炎の歴史的事実などの教育
を充実させるよう通達しました。国への損害賠償を求めて活動しているB型肝炎の県
原告団・弁護団が、看護師をめざす学生に向けて肝炎患者の苦しみを理解してもらい、
過ちを繰り返してほしくないとの思いを語ります。市民の方もぜひご参加ください。



宮崎県立看護大学
江藤敏治 教授

日時 平成30年
6月23日（土）
15:00～17:00
（開場14:30～）

参加費 無料

会場 宮崎県立看護大学
高木講堂
宮崎市まなび野3丁目5-1

お申込み メールまたはフォームより
お申込みください
hhr_kango@yahoo.co.jp
お申込みなしでもご自由に参加できます

タイムスケジュール

- 14:30 受付
15:00 開演 挨拶（遠藤 豊 宮崎生協病院 院長）
15:05 基調講演
「B型肝炎患者さんの診療を通して学ぶ
肝炎患者さんへの寄り添い」
宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治
15:30 B型肝炎の正しい知識患者の現状について
全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団 外山 亮
15:50 B型肝炎患者さんの思い
元 国立療養所宮崎病院 看護師長 高野 江美子
（現：国立病院機構宮崎病院）
全国B型肝炎訴訟 宮崎県代表 山鹿 明
16:30 全体討論会
17:00 終了



お申込みフォーム



主催：宮崎西校宮崎県医師の会
後援：宮崎県立看護大学

お問合せ：「B型肝炎の正しい理解とより添う看護」事務局
宮崎県立看護大学内 江藤敏治研究室
TEL 0985-59-7711（平日・日中）